

「ナチスの手口を学んだら、と言う者の愚かさ」

旧約聖書の中に次のようなことわざがあります。「聡明な心は知識を求め、愚か者の口は無知を友とする」(箴言 15 章 14 節)。愚か者とは正義や真理から目を逸らし、それに敵対する者のことです。憲法改正に関連して、以前、副総理であった麻生太郎氏(現財務大臣)が「ナチスの手口を学んだらどうか」という発言をして問題になりました。こうした発言は二重の意味で愚かさや無知を表しています。というのもナチスのヒトラーは、憲法を骨抜きにして独裁政治を確立し、ユダヤ人や反対派を虐殺し、近隣諸国を侵略しました。こうしたナチスの手口には批判すべき点こそあれ、学ぶべき点など何もありません。そのことを知らず、その手口を学べと言ったのなら、それは歴史に対する無知も甚だしいと言わざるを得ません。一方、ナチスの犯罪を知った上で、その手口を学べと言ったのなら、それこそ正義や真理に敵対する愚かな発言です。大切なことは、聡明な心で謙虚に歴史に学び、正しい知識を身につけ、正義と真理を追い求めることです。

2020年2月28日